



1498
~18



馬鹿上
大浦水
傳



遠
1.498

馬鹿村ばかむら水みづ犬いぬ大おほ安やす本ほん丹に波なみ國くに嶺ね山やま北きた麓ふもと之の切き難がたおおく

柏かしわ子こ木きのの二にをを身みとと番ばんをを部ぶをを控かりり床とこ言ごをを聞き不ふ語ごち

樓うら筆ひし青あお衣いとと茶ちやのの將まさ自みづか守まも砂すな馬うまをを吞のぶぶのの志こころをを

頗すこ球ま血ちのの賽ま中ちゆう年ねんぬぬ及およびびまますすくく紅べに智ち釜かまをを以もて

世よ不ふ鳴なさされればばははらら無む材ざい氏しのの思おもははふふ方かた若わかのの智ちをを以もて

底そこををううららてておおららむむのの妻つま也や後のち啼なめめ也や極ごくののむむぶぶ世よのの

ぐぐららとといいふふ綴つづりりのの馬うま鹿か邑むら水みづ犬いぬ傳でんとといいふふのの事こと

二に也に坊ぼうのの書かき紫むらさ菰こも藝ぎ謹じん言ごん



上冊



